第91回 憲法を考える映画の会

種まく人びと

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 創立50周年記念映画

横浜事件を生きて





2026年 12月5日（土）
13時30分～16時30分
文京区民センター ３A会議室
（地下鉄 春日駅 2分・後楽園駅 5分）

■プログラム
13：30～13：35　今回の作品についての紹介
13：35～14：20　映画『種まく人びと』上映（45分）
14：20～15：20　映画『横浜事件を生きて』（58分）
15：30～16：30　トークシェア

■参加費：1000円（若者：無料）



映画 『種まく人びと 』
治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟創立50周年記念映画

この映画は、戦前の暗黒政治のもとで、命がけで侵略戦争に反対し、主権在民、平和と民主主義を主張したために弾圧され、今日の日本国憲法の礎を築いた治安維持法犠牲者の戦いと、その志を引き継いだ人びとの不屈の記録です。
（監督：鶴見昌彦／2018年制作／45分）

映画『横浜事件を生きて』

「横浜事件」は1942年から45年にかけて多数のジャーナリスト・知識人が検挙され、 事実無根のでっちあげで特高から激しい拷問を受け、死亡者も出た弾圧事件。出版記念慰安旅行の1枚の写真が、共産党再建準備会の証拠とされた。拷問による自白をもとに有罪とされたが、戦後、関係者が立ち上がった。ビデオはその生き残りのひとりである木村亨さんの再審請求のたたかいを中心に構成。今も続いている事件なのだ。元特高警察官が電話インタビューで語る本音。古いニッポンはまだ生きていた。
（演出：松原 明／1990年制作／58分）

映画を見て考えたいこと

2013年の「特定秘密保護法」、2017年の「共謀罪法」、そして今また「スパイ防止法」。その間にも「国旗損壊処罰法」…。それらの多くが、私たちの「表現の自由」、「言論の自由」に深く関わってくる法律であるにもかかわらず、十分な論議もされないまま、強行されてきました。為政者は、いったい何がしたいのか、なぜそんな無茶苦茶に民主主義的な論議を壊してまで、押し進めようとするのでしょうか？

これらの法制には、すべて、自分たちの政策に反対する人びと、文句を言う人の活動を封じたいと言うねらい、意図を感じます。それは、敵を作り出し、排除しようとしてい動きにつながります。いわば内向けの戦争の準備、戦前・戦中と同じような監視体制をつくり、政府の方針に異を唱える人びとを「非国民」として拘束、弾圧していくような社会をつくることにつながります。戦争に反対する声をあげれば、監視され、国家に反逆していると決めつけることができる法制、社会がつくられようとしています。

私たちは、戦前の治安維持法が、どのように弾圧に利用されてきたか、そしてそれが結果として人びとを戦争に導いていったかを、歴史から学びたいと思います。さらに、それと同じような意図、ねらいが、今の政治を動かしているのではないかと考えざるを得ません。
「スパイ防止法」に向けての動きを通して、「改憲」のねらいについて考えていきたいと思います。

憲法を考える映画の会 （関連上映会）これまでの上映作品 （2013年4月～2026年12月）


第1回 2013年4月06日
戦争をしない国 日本


第2回 2013年5月19日
八十七歳の青春 市川房枝生涯を語る


第3回 2013年6月15日
映画 日本国憲法


第4回 2013年7月06日
日本国憲法誕生


第5回 2013年8月10日
日本の青空


第6回 2013年9月14日
ベアテの贈りもの


第7回 2013年11月02日
ショック・ドクトリン


第8回 2013年11月30日
レーン・宮沢事件


第9回 2014年1月18日
ニッポンの嘘
報道写真家 福島菊次郎90歳


第10回 2014年2月08日・3月01日
“私”を生きる


第11回 2014年4月12日
9条を抱きしめて


第12回 2014年5月24日
死んどるヒマはない
益永スミコ86歳


第1回ちいさな映画会 2014年6月21日
ラブ沖縄


第13回 2014年7月19日
ファルージャ
イラク戦争 日本人人質事件…そして


第2回ちいさな映画会 2014年8月17日
僕たちは見た
沈黙を破る


第14回 2014年9月21日
ありふれたファシズム
野獣たちのバラード


第3回ちいさな映画会 2014年10月4日
速報 辺野古の闘い 2014年8月
アルマジロ


第15回 2014年11月22日
ANPO
あの熱かった時代の『抵抗』のアート


第4回ちいさな映画会 2015年2月1日
スペシャリスト
わが青春に悔なし


第16回 2015年3月14日
証言 侵略戦争
証言 中国人強制連行


第17回 2015年4月25日
イラク 戦場からの告発
ジャーハダ イラク民衆の闘い
シリア内戦 イスラム国の正体を暴く


第18回 2015年6月13日
井上ひさし 九条を語る
加藤周一 九条を語る
女性達にとっての日本国憲法


第19回 2015年7月18日
東京裁判


第5回ちいさな映画会 2015年8月23日
弁護士 布施辰治
天皇の名のもとに


第20回 2015年9月13日
誰も知らない基地のこと


第21回 2015年10月25日
首相官邸の前で


第22回 2015年11月28日
ハーツ・アンド・マインズ
ベトナム戦争の真実


第23回 2016年1月31日
白バラの祈り
ゾフィー・ショル、最後の日々


第24回 2016年3月26日
グラニート
独裁者を追い詰めろ


第25回 憲法映画祭2016 5月01日
映画 日本国憲法／ありふれたファシズム／
ショック・ドクトリン


第26回 2016年6月26日
ザ・思いやり


第27回 2016年7月24日
ハトは泣いている
時代（とき）の肖像


第28回 2016年9月17日
焼け跡から生まれた憲法草案


第29回 2016年10月15日
NO（ノー）


第30回 2016年11月03日
わたしの自由について
SEALDs 2015


第6回 ちいさな映画会 2016年12月10日
抗い ARAGAI
横浜事件を生きて


第31回 2017年1月29日
横浜事件を生きて
横浜事件 半世紀の問い


第32回 2017年2月25日
小林多喜二


第33回 2017年3月26日
武器なき斗い


第34回 憲法映画祭2017 4月29・30日
意志の勝利／白バラの祈り／夜と霧／
顔のないヒトラーたち／戦争をしない国 日本
大東亜戦争／天皇と軍隊

第35回 2017年5月27日
知事抹殺の真実

第36回 2017年7月01日
テロリストは誰？

第37回 2017年8月27日
戦ふ兵隊
日本の悲劇

第38回 2017年10月14日
隠された爪跡
払い下げられた朝鮮人

第39回 2017年12月10日
ジョン・ラーベ　南京のシンドラー

第40回 2018年1月27日
憲法を武器として
恵庭事件 50年目の真実

第41回 2018年2月25日
ザ・思いやりパート2
物質と行動 編

第42回 憲法映画祭2018 4月29・30日
すべての政府はウソをつく／ニッポンの嘘
東京裁判/NO/ハトは泣いている
トランプのアメリカ

第43回 2018年6月3日・30日
500年 権力者を裁くのは誰か
グラニート 独裁者を追い詰めろ

第44回 2018年8月25日
『在日』

第45回 2018年9月23日
スペシャリスト 自覚なき殺戮者

第46回 2018年11月03日
OKINAWA1965

第47回 2018年12月08日
南京！南京！

第48回 2019年1月27日
わたしの描きたいこと

第50回 憲法映画祭2019 4月26日～28日
あの日の声を探して／天皇の名のもとに／
証言侵略戦争／嵐の兵隊／陸軍前橋飛行場／沖縄
スパイ戦史／ありふれたファシズム／ショックド
クトリン／ベトナムから遠く離れて／共犯者たち

第49回 2019年3月02日
天から落ちてきた男

自主制作映画見本市＃1 2019年4月30日
死んどるヒマはない／私の描きたいこと
ハトは泣いている／隠された爪跡／OKINAWA
1975／知事抹殺の真実／フクシマ2011

第51回 2019年6月30日
沖縄から叫ぶ 戦争の時代
宮古島からのSOS

第7回 ちいさな映画会
2019年7月14日
言わねばならないこと／遅すぎた聖断

第52回 2019年8月10日
ピカドン
ひろしま

自主制作映画見本市＃2 2019年9月23日
『在日』／証言 中国人強制連行／
レーン・宮沢事件／ファルージャ／
シロウオ／生きるのに理由はいるの

特別講演会 2019年10月22日
『現代天皇制の心の支配』山田朗 先生
遅すぎた聖断

第53回 2019年10月26日
ニジノキセキ

特別上映会 2019年11月03日
靖国・地霊・天皇
遠近を抱えて PART2

第54回 2019年12月08日
主戦場

自主制作映画見本市＃3 2020年1月13日
陸軍前橋飛行場／靖国・地霊・天皇
憲法を武器として／9条を抱きしめて
裁判所前の男／選挙が生まれる

第55回 2020年2月11日
アフガニスタン
用水路が運ぶ恵みと平和

第56回 2020年9月21日
沖縄と本土 一緒に闘う
ヤジと民主主義

自主制作映画見本市＃4 2020年9月26日
ヒロシマナガサキ 最後の二重被爆者
私たちは忘れない／二つの故郷を生きる
棘／人らしく生きよう／生きるのに理由はいるの

第57回 2020年11月03日
地の塩

特別上映会 2020年11月23日
人らしく生きよう 国鉄冬物語

自主制作映画見本市＃5 2021年2月23日
天皇の名のもとに／グラニート
ザ・思いやり／チェルノブイリハート

第58回 2021年3月27日
言わねばならないこと
ショック・ドクトリン

第59回 憲法映画祭2021 4月17日
戦争のつくりかた／戦争をしない国日本
シャドー・ディール／1987、ある闘いの真実

第60回 2021年6月06日
ハワイマレー沖海戦
ドキュメント真珠湾攻撃／ミッドウエイ海戦

第61回 2021年8月08日
荒野に希望の灯をともす

自主制作映画見本市＃6 2021年9月26日
外国人収容所の闇／君が代不起立／
終わりの見えない闘い／闇に消されてなるものか

第62回 2021年11月21日
子どもたちの昭和史

自主制作映画見本市＃7 2021年12月26日
原発の町を追われて／バークレー市民がつくる町
日高線と生きる／作兵衛さんと日本を掘る／
いのちの海

第63回 2022年2月6日
標的

自主制作映画見本市＃8 2022年3月13日
傍観者あるいは偶然のテロリスト／
海辺の彼女たち／ウィシュマ・サンダマリ／
オキュパイシャンティ／
メトロレディーブルース

第64回 憲法映画祭2022 4月23日・24日
グレタひとりぼっちの挑戦／ちむぐりさ／
私たちの生まれた島／若きハルサーたちの唄／
バークレー市民がつくる町／日本鬼子／
映画日本国憲法／コスタリカの奇跡

第8回 ちいさな映画会 2022年6月25日
ヒトラー VS チャップリン 終わりなき闘い
チャップリンの独裁者

第65回 2022年8月13日
TOMORROW 明日

自主制作映画見本市＃9 2022年9月18日
２８８７／ワタシタチハニンゲンダ!／
葫蘆島遣送／岸辺の朽

第66回 2022年10月23日
教育と愛国

第67回 2022年12月25日
日本原　牛と人の大地

第68回 2023年2月12日
テロリストは誰？

第69回 憲法映画祭2023 4月29日30日
はだしのゲン／対馬丸／うしろの正面だあれ／
少女ファニーと運命の旅／ジョニーは戦場へ行った／
沖縄うりずんの雨／教育と愛国／ある戦争

第70回 2023年7月16日
ドキュメント石垣島／
沖縄、再び戦場へ（仮）スピンオフ作品

第71回 2023年8月6日
広島・長崎における原子爆弾の影響

第72回 2023年10月21日
鶴彬 こころの軌跡

第73回 2023年12月23日
流血の記録 砂川

第74回 2024年2月3日
サイレント・フォールアウト

第75回 憲法映画祭2024 4月29日
ヤジと民主主義／しでほら／
荒野に希望の灯をともす／戦争のつくりかた／
ミサイル基地がやってきた 島で生きる／
サイレント・フォールアウト

第76回 2024年6月29日
アトミック・カフェ

第77回 2024年8月11日
生きていてよかった／千羽鶴

第78回 2024年10月14日
琉球弧を戦場にするな

第79回 2025年1月12日
映画 〇月〇日、区長になる女。

第80回 2025年3月20日
ガザからの報告

第81回 憲法映画祭2025 4月29日
禁じられた遊び／ベアテの贈りもの
オン・ザ・ロード／夢みる校長先生

第82回 2025年6月28日
琉球弧を戦場にするな 2025
拝啓 住民投票さま
石垣島のまんなかで起きたこと

第83回 2025年8月11日
臨軍

第84回 2025年10月5日
あの日、群馬の街で

第85回 2025年12月7日
レーン・宮沢事件

第86回 2026年2月8日
日本人はなぜ戦争へ向かったのか
“熱狂”はこうして作られた

第87回 憲法映画祭2026 4月18日
二十四の瞳／ラストメッセージ／
ありふれたファシズム／
戦争のつくりかた／百姓の百の声

第88回 2026年6月7日
豹変と沈黙

第89回 2026年8月29日
1923
関東大虐殺

第90回 2026年10月18日
新・戦場の兵士

第90回 2026年12月5日（予定）
種をまく人びと
横浜事件を生きて

●毎回の「映画の会の案内」をご希望の方は、下記のMailアドレスまで、その旨、お知らせください。

憲法を考える映画の会
〒185-0024 東京都国分寺市泉町3-5-6-303
mail：hanasaki33@me.com
ホームページ：http://kenpou-eiga.com/